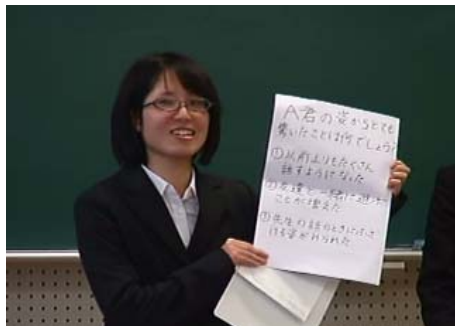


## 平成21年度 石山プロジェクト秋学期報告会

2月19日（金）第1講義室にて（15時10分受付）、石山幼稚園・小学校で活動しているサポーターが、活動の様子や活動で気づいたこと、学んだことなどを報告しました。発展実習の報告会等に参加する学生もあり、全員参加とはなりませんが、学生28名、教員3名の計31名の参加の中、学年部ごとに報告が行われました。



幼稚園グループからは、年少組・年長組で活動する中で感じた子どもの育ちについて、3択クイズを取入れ報告がありました。

春学期と比べた年少A児が変わったと感じた所は何か？という質問では、

- ① 以前よりたくさん活動するようになった
- ② 友達といっしょに遊ぶことが多くなった
- ③ 先生の話をおかずにはふざけるようになった

という3択の正解は…すべて○でしたが、自分が出せるようになったという成長の様子が語られました。

1年生グループは、心に残った場面を1枚の絵に表しての報告となりました。登場した場面は、『帰りの会』『学習場面：できたという喜び』『休憩時間』『OHCを使った学習』等々、サポーターがそれぞれの活動において、感じた子どもの姿や教師の指導場面が語られました。

2年生グループからは、ペープサートを用いて、A児が友達とトラブルを起こしたとき、自己中心

的な考え方をしていた子どもが、客観的に自分の非を認めるという成長を感じた場面が語られました。



3年生グループは、各サポーターからの報告、4年生グループはパワーポイントを使ったプレゼンテーションで進められました。



5年生グループは、高学年としての子どもの成長として、学習と遊び時間のけじめを意識できるというよい面と、かかわり方が難しいと感じた2つの場面について、寸劇を取入れた報告が行われました。

6年生グループは、漢字1文字で自分の報告内容を表す報告を、なかよし学級グループは、「なんでも挑戦」「かつ動を通して」「よく考えて」「しん鮮」と、なかよし4文字を読み込んだ報告、というようにそれぞれ工夫しての報告が行われました。